



「高瀬舟」

倉敷市立船穂小学校 校長だより
令和7年4月14日 No. 1

右手に「元気」、左手に「勇氣」！



今年度もよろしく
お願いいたします。



春休みに入って少しずつ温くなり、始業式には桜も満開となりました。始業式、入学式とも晴天に恵まれ、空も子どもたちの進級を祝ってくれているようでした。

今年度、めざしている学校像は、みんなで「たのしい たのしい船穂小」をつくることです。

ただし、学校を「たのしい たのしい」ところにするには、「先生に何かをしてもらう」という姿勢では足りないと思います。自分の力で「たのしい」ところにしていけるようになってもらいたいと思うのです。

学校はさまざまなことを学ぶところですので、難しいなあ、大変だなあ、嫌だなあと思うことはきっと出てきます。それは受け身で耐えるものではなく、切り拓いて楽しさに変えていくものだと思います。

そのために子どもたちに必要なものは、2つの「気」であると思います。

人は生まれた時から2つの気をもっています。右手には「元気」、左手には「勇氣」です。

見えないこの2つの気は、使えば使うほど、大きくなります。例えば、あいさつが得意だなという人は大きな声が出せます。恥ずかしい気持ちを吹き飛ばすことができます。友達に声をかけることだって、発表をどんどんすることだってできます。「元気」と「勇氣」は使えば使うほど大きくなっていくものです。逆に、使わなければ、元気と勇氣はどんどんどんどん小さくなってしまいます。どうしようかな、恥ずかしいなと思ってやめてしまうとしぼんでしまうものです。

ですので、子どもたちには、自分で「元気」「勇氣」をどんどん使う人になってほしい、ということをお話しました。何かチャンスがあったら「やってみる」「挑戦してみる」ようにしてほしい、そうすれば、みんなのできることはどんどん増え、学校はみんなにとって、必ず「たのしい たのしい」ところになる！ということを伝えています。

「右手に元気」「左手に勇氣」で「たのしい たのしい学校をつくる」！保護者のみなさまもこのワードを頭の隅に置いていただきたいと思います。